

# 君津中央病院企業団議会

平成27年12月定例会会議録

君津中央病院企業団企業長福山悦男は、平成28年1月4日をもって平成28年1月13日午後2時00分に木更津市桜井1010番地君津中央病院4階講堂に企業団議会を招集した。

1 出欠席議員は次のとおりである。

出席議員

1番 石井 勝、2番 平野卓義、3番 服部善郎、4番 鈴木良次、5番 須永和良  
6番 石井清孝、7番 小林新一、8番 福原敏夫、9番 高橋恭市、10番 榎本雅司  
11番 前田美智江、12番 山口幹雄

欠席議員

な し

2 職務のために議場に出席した職員は次のとおりである。

3 説明のため出席したものは次のとおりである。

企業長 福山悦男、代表監査委員 笈川政登己、監査委員 坂元淳一、病院長 鈴木紀彰  
事務局長 荒川裕司、事務局次長 横倉 芳、事務局次長兼総務課長 小島進一  
事務局次長兼医事課長 池田倫明、財務課長 竹下宗久、管財課長 三富敏史  
経営企画課長 石黒穂純、副院長 岡 陽一、副院長 須田純夫、学校長 柴 光年  
医務局長 氷見寿治、地域医療センター長 八木下敏志行、看護局長 齊藤みち子  
医療技術局長 須藤義夫、医務局理事 海保 隆、医療技術局理事 朝生 忍

4 会議に付した事件は次のとおりである。

- ・議案第1号 平成27年度君津中央病院企業団病院事業会計補正予算（第2号）について  
(提案理由説明、補足説明、質疑、採決)

(午後2時00分開会)

<議長>

皆様、新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いをいたします。

それでは、初めに出席定数を確認いたします。

ただいまの出席議員数は11人でございます。

定足数に達しておりますので、平成27年12月君津中央病院企業団議会定例会を開会いたします。

ここで福山企業長から招集のご挨拶をお願いいたします。

福山企業長。

<企業長>

それでは、開会に当たりまして一言ご挨拶申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。本当に議員の皆さんには年始のご多忙のところお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。日ごろは企業団の運営に対しましてご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げる次第でございます。

今回新たに企業団議会議員にご就任されました君津市選出の鈴木良次議員、須永和良議員におかれましては、企業団の運営にご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

初めに、平成19年度より常勤医が不在となり、診療の制限を余儀なくされておりました泌尿器科につきまして、平成28年度から常勤医が確保でき、診療が再開できる見通しとなりましたので、ご報告申し上げます。

泌尿器科医の確保につきましては、石井議員のお力添えをいただきまして、横浜市立大学の医学部泌尿器科医局より、後期研修医を含めて4名の医師を派遣していただける予定となりました。

次に、平成27年度に行っております建設改良事業の進捗状況についてご報告申し上げます。

まず、平成26年度からの継続事業として整備を進めてきました汚水管接続替え工事でございますが、平成27年の12月21日に竣工しまして、既に放流を開始しております。

次に、平成25年度から継続事業として整備を進めております学生寄宿舍の新築工事でございますが、平成27年12月末までに躯体工事、防水工事及び配線・配管工事を予定どおり完了しております。平成28年1月からは外壁塗装工事、内装仕上げ工事及び設備器具取り付け工事を進め、工事期限でございます平成28年3月10日までに完成する見込みでございます。

次に、平成27年度の単年度事業として整備を進めておりますドクターヘリ地下燃料タンクの整備工事ですが、平成27年12月末までに擁壁及びタンク設置のための掘削工事及び地盤改良工事を予定どおり完了しております。平成28年1月からは擁壁設置工事及びタンク設置工事を進め、工事期限であります平成28年3月25日までに完成する見込みです。

さて、本定例会では、平成27年度君津中央病院企業団病院事業会計補正予算（第2号）についての1議案を提出させていただいております。よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。招集のご挨拶とさせていただきます。よろしくどうぞお願いいたします。

<議長>

日程に入るに先立ちまして、人事について報告いたします。

君津市議会選出の磯貝清議員と池田文男議員が任期満了のため企業団議員を退任され、後任には鈴木良次議員と須永和良議員が選任されました。自席にて、就任のご挨拶をお願いいたします。

それでは、鈴木議員、どうぞ。

<4番 鈴木良次議員>

今回、中央病院議員ということで選出されました。よろしく申し上げます。

<議長>

それでは、須永議員、どうぞ。

<5番 須永和良議員>

選出されました須永でございます。若輩者ですが、頑張りたいと思いますので、よろしく申し上げます。

<議長>

続きまして、監査委員から、地方自治法第199条第4項の規定による定期監査及び地方自治法第235条の2第1項の規定による例月出納検査の結果について報告がありました。お手元に配付しておきましたので、ご了承願います。

本日の議事日程は、お手元に配付してございます。その順序に従いまして会議を進めてまいりますので、ご了承願います。

#### 日程第1 議席の指定

日程第1、議席の指定を行います。

議席は、議長において指定します。

鈴木良次議員を4番、須永和良議員を5番と指定いたします。

#### 日程第2 会期の決定

日程第2、会期の決定についてを議題といたします。

お諮りします。

本定例会の会期は本日1日としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議ないものと認め、会期は本日1日と決定いたしました。

#### 日程第3 会議録署名議員の指名

日程第3、会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第93条の規定により、議長から平野卓義議員と鈴木良次議員を指名します。

#### 日程第4 議案の上程

<議長>

日程第4、議案の上程を行います。

本日の上程の議案は1件でございます。

朗読については省略いたしますので、ご了承願います。

それでは、上程されている議案について提案理由の説明を求めます。

福山企業長。

<企業長>

それでは、本定例会に提出いたしました議案の提案理由につきまして、ご説明申し上げます。

議案第1号 平成27年度君津中央病院企業団病院事業会計補正予算(第2号)については、本院事業費用及び資本的支出の予算額の補正を行おうとするものでございます。

まず、本院事業費用予算額の補正ですが、平成27年10月13日に開催しました議員の全員協議会でご報告申し上げましたように、君津中央病院企業団病院事業施設整備基本計画等策定業務について、計画の見直しが必要となり、追加業務が発生したために契約期間を延長しておりますが、契約金額につ

きましても増額が必要となったことから、経費の委託料を増額補正するものです。

次に、資本的支出予算額の補正ですが、先ほど招集の挨拶でも申し上げましたように、泌尿器科の診療再開に見通しが立ったことから、医療機械器具等の整備を行うため、設備費を増額補正するものです。

以上で提案理由の説明を終了いたします。

よろしくご審議の上、ご可決くださいますようお願い申し上げます。

<議長>

提案理由の説明が終わりましたので、直ちに議案を取り上げたいと思います。

議案第1号 平成27年度君津中央病院企業団病院事業会計補正予算（第2号）について、事務局に補足説明を求めます。

荒川事務局長。

<事務局長>

それでは、平成27年度君津中央病院企業団病院事業会計補正予算（第2号）につきまして、補足説明をいたします。

提出議案説明資料の1ページをごらんください。

最初の枠囲いに今回の補正の概要を記載しておりますが、1点目は、収益的収支における本院医業費用に対する243万円の増額補正、2点目は、資本的収支について、支出に対する1億800万円の増額補正となります。なお、1点目の補正につきましては本院事業における経費の増、2点目は資本的収支における設備費の増を計上したものととなります。

それぞれの補正の内容についてでございますが、まず、1、本院事業費用の項に掲げた表をごらんください。

本院事業費用のうち、経費の既決予算額22億7,254万7,000円に対しまして、委託料として243万円増額補正し、補正後の経費の総額は22億7,497万7,000円となります。そして、これらによります本院事業費用の合計額は206億1,854万1,000円となります。

説明欄にお示ししましたとおり、これは君津中央病院企業団病院事業施設整備基本計画等策定業務中の、本院増築棟建設及び病院棟改修基本計画策定部分において追加業務が発生したことにより、委託料の増額が必要となったためでございます。

当該追加業務が生じた理由は、表の下の※印のところに記載しましたとおり、本院施設整備構想をもとに積算した概算事業費が、当初の事業想定額に比べて大幅な増額となり、収支の悪化が見込まれたため、施設整備計画の見直しが必要となったことによるものでございます。

続いて、2、年間収支をごらんください。

今回の本院事業費用の補正により、本院事業の年間収支は、既決予算額1億8,486万円の総純利益に対して243万円の減となる1億8,243万円の純利益となる見込みです。

続きまして、3、資本的支出の項をごらんください。

資本的支出の建設改良費にありますが設備費について、既決予算額4億9,605万3,000円に対しまして、1億800万円増額補正し、補正後の設備費は6億405万3,000円となります。そして、これらによります資本的支出の合計額は28億5,449万9,000円となります。

説明欄にお示ししましたとおり、これは泌尿器科常勤医採用を本年4月に控え、診療拡大に対応するために必要となる医療機械等の整備を行うための医療機械器具費の増となります。

最後の4、資本的収支不足額の補てんの項ですが、ただいまご説明いたしました設備費の増額分を含めて、資本的収支の不足額につきましては、表の2行目、過年度損益勘定留保資金及び3行目、当年度

損益勘定留保資金により補てんすることとなります。

資料の2ページには、今回の補正後の収益的収支の内訳、3ページには資本的収支の補正後の内訳をお示ししております。後ほどご確認いただければと存じます。

補正予算（第2号）についての補足説明は以上となりますが、なお、現時点では見込み額が定まっていないため、12月議会での補正の対象とすることはできませんでしたが、今年度は患者数の減による収益の減少も見込まれております。また、年間収支へ与える影響が大きい他の事項としまして、退職給付引当金繰入額などもございます。これらは12月末の見込みをもとに3月議会で補正させていただく予定としておりますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

<議長>

説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

質疑ございませんか。

須永和良議員。

<5番 須永和良議員>

それでは、2点ほど質問させていただきます。

まず最初の243万円の補正についてなんですけれども、ちょっとわからないので教えていただきたいのは、増額の原因が、当初の事業想定額に比べ大幅な増額、概算事業費が増額されたから、要は作り直したということだと思うんですけれども、では、概算事業費が当初の事業想定額に比べ大幅な増額となった原因というのは、いろいろな外的な要因なのか、それとも見通しが甘かったというだけなのか、そここのところを教えてくださいというのが1点。

もう一点、1億800万円の泌尿器科の器具というのは、多分そうだとは思いますが、この4月に来るお医者様の意向を聞いて使いやすい機械というのを入れているのかどうか、教えてください。

<議長>

答弁をお願いします。

石黒経営企画課長。

<経営企画課長>

まず1点目の、概算事業費、今回補正が243万円出たという形なんです、26年の2月に、後ほど全員協議会のほうでご報告しますが、アイテック株式会社というコンサルタント会社と契約をしまして、それまで企業団内で積み上げてきました構想をもとに、7月の時点で初めて概算金額が出てきたという内容でございます。それが、当初見込んだのが30億から40億ということを見込んでおったんですが、この時点で60億というふうになってしまいました。後ほどまたご説明しますが、基本的なコンセプトは変えずに、内容はほとんど変えずに、事業内容を縮小したということでございます。今回、コンサルで初めて事業費を積み上げた関係がありまして、その段階で初めて事業費が出てきたという形です。

増額になった要因としましては、建築単価の上昇ということでの要因もございます。

<議長>

次、もう一点。

三富管財課長。

<管財課長>

それでは、私のほうから2点目の設備費の1億800万円のご質問に対してお答えいたします。

今回の補正につきましては、購入を予定しておりますのは、医療機械のうちの泌尿器科の代表的な器具8件ほど予定してございます。こちら、医師の就任は4月からでございますが、医療機械の調達の場合には、入札等の手続を行いますと納品まで1か月以上要するということから、4月1日診療に間に合うように、今回の補正を可決いただきましたら、2月中旬に入札する予定で考えてございます。

こちらの機器の内訳につきましては、主に尿路、尿管あるいは膀胱等の検査になりますので、ファイバースコープ等を中心に超音波診断装置、あるいはそちらを洗浄するための洗浄機等々を予定してございますが、こちらにつきましては、就任される医師、主軸となりますドクターの意向を踏まえまして、協議をさせていただく中で、銘柄等をなるべく指定しないようにですね、代表的な機器を過去の導入実績等に基づいて積算して、今回1億800万円という補正予算とさせていただいてございます。

以上でございます。

<5番 須永和良議員>

ありがとうございました。

<議長>

ほかにもございませんか。

平野卓義議員。

<2番 平野卓義議員>

じゃ、関連でひとつ質問させていただきます。

以前あった泌尿器科のいろいろな器具については、どのような扱いになるのか。そのまま継続して使うのか、今回の1億800万円で全てを入れかえるのかについて、ちょっとお伺いします。

<議長>

三富管財課長。

<管財課長>

それでは、ただいまのご質問にお答えいたします。

現在におかれましても、外来で、主に手術等の必要のない患者様を中心に診察していただいております。それは既存のファイバースコープ等を中心に尿流量測定等の機器、既存の機器を中心に診察を行っておりますが、今回、主に手術等の疾患に対する高額医療機器、高度な医療機器について整備されておりませんので、そちらを調達するという計画でございます。

現在も使われている機器は、先ほどのファイバースコープ1本と尿流量測定装置等の検査機器は、現在も既存の機器で使用してございます。今後も引き続き使用する予定でございます。

<議長>

よろしゅうございますか。

ほかにもございませんか。ほかにも質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

質疑もないようでございますので、討論を省略し、採決したいと思います。ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認め、採決いたします。

議案第1号を原案のとおり決することに賛成の方は挙手を願います。

(全 員 挙 手)

挙手全員であります。

議案第1号 平成27年度君津中央病院企業団病院事業会計補正予算(第2号)については、原案の

とおりの可決されました。

以上で本日上程の全ての議案を議了いたします。

ただいま企業長から発言を求められておりますので、これを許可いたします。

福山企業長。

<企業長>

ただいまは1議案につきましてお通しいたきまして、ありがとうございます。

いつもですと議会が非常に長く続いて、大分後で、私、ゆっくりご挨拶申し上げるんですが、最近の形式ですと大変早く、私、ご挨拶申し上げることになるので、どんな話をとって考えていたんですが、本当に日ごろは4市の議員さん、おいでいただいている議員さん方には大変お世話になっております。おかげさまで病院も順調に経営されてきておりまして、4市の皆さんに感謝そのものでございます。

また、本日は大変お寒い中をおいでいただきまして、正月は暖かかったんですが、今、急に寒くなって、大変恐縮している次第でございます。

話をすると長くなっちゃうんですが、おとし医療法の改正とか、あるいは診療報酬の改正、そして医療介護総合確保推進法、非常に目新しい改革がございまして、それにつきまして、例えば地域の医療ビジョンに合わせて医療機関、2次医療圏の診療を進めていきなさいというような指示が出まして、現在もそれに向かって話を進めているわけでございますけれども、2次医療圏の医療資源というのが、ある程度それぞれの変化がございまして、この考え方をですね、機能分化・連携というような形で医師会の先生方と当院も話を進めておりますけれども、どういう方向でやっていくのが一番いいのかという、とても難しいような話になっておりまして、なかなか進んでいかない。これはもう石井先生なんかにも随分お世話になっているので、先生もいろいろお考えになっているんじゃないかなと、私、考えております。

そういうことで、大変ですね、消費税の増額とかそういうこともありまして、昨年もずっと病院の経営状態、厳しい状況が続いておりましたけれども、どうも、来年の診療報酬改正も何か厳しいような数字が今のところ出ておりまして、これからどういう方向に進めていけばいいのかなということで、いつも言われているのは、2025年の超高齢化社会を迎えたときの医療・介護という問題がいつも話題になっておりますけれども、医療に関しては、今までどなたもみんな経験があるわけですが、介護というものは、どの程度お年寄りの満足度が満たされるのかということは非常に大きな問題だろうと思えます。

制度は、私、いつも思うんですが、私、関係している全国の国保の診療施設協議会でいつも話題になるんですけども、制度はできているけれども、なかなか具体的に高齢者がご満足いただけるような在宅医療とか在宅介護というのは、どうすればいいのかというのは非常に難しいのではないかと思いますね。

医療というのは、もうとにかく早くよくなっていただければいいということで、非常にはっきりわかっているし、また、ずっと病気だった人が元気になって、また社会に出て、そして仕事ができるという、非常にプラス的な考え方ありますけど、高齢者の場合、長年国のために働いていただいたけど、でも、余生をどうやって楽しくお過ごしいただいたらいいのかという、ちょっと方向性が違いますので難しいんだろうなと、こういうふうにもいつも思っております。しかし、非常に内容そのものは、財政的にもかなり大変な領域じゃないだろうかと、こういうふうにも考えております。

そういうことで、当院も3次救急医療を中心にしてずっと長年やっておりますけれども、そういうことで地域の医療ビジョンということで、地域医療計画の中でどういう立場で当院が仕事をしていくかということで、3次救急医療だけではなくて、そういう在宅医療の問題にもかなりタッチしないといけな

いのではないかなと思って、いろいろ考えておるんですけども、非常に難しい問題だなという感じがいたします。

きょうお集まりの先生方にも今後いろいろとお知恵を拝借して、そしてご協力いただいて、地域の皆さんのために頑張っていきたいなど、こういうふうに考えておりますので、今後ともよろしくどうぞお願いいたします。

<議長>

ありがとうございました。

以上をもちまして本定例会を閉会いたします。

ご苦労さまでございました。

(午後2時26分閉会)